

平成26年度第2回 博物館協議会 抄録

(市民憲章唱和)

1 あいさつ

(会長)

2 協議事項

I 平成26年度開催済展覧会の報告

(資料説明：事務局)

(委員)

「安城の文化財」展でも、天然記念物がパネルで紹介されていたが、実物を見ることは大切なことだと思うので、天然記念物を実際に見てまわるイベントを開催してもよいのではないかな。

ここでは関係ないかもしれないが、桜井神社の松にマツグミが増えすぎてしまっていて、その影響が心配。

(事務局)

「天然記念物めぐり」というイベントは、今後検討させていただきます。

保護に関しては、文化財係と相談します。

(委員)

「昭和ミニチュア情景展」の観覧者の推移に関してですが、最初の頃に集中したのか、それとも徐々に増えていたのか、どのような状況でしたか。

(事務局)

最初の1週間は、いつもと同じように多い日で100人を超えるような状態でしたが、新聞やテレビで紹介されて、次の週以降は300とか400人を超える日もありました。8月は七夕の週は少なめでしたが、後は軒並み良かったです。最後の土日も両日とも400人を越えたので、尻上がりに来場者が伸びたという状況です。お客様には、親子連れも多かったし、帰省したついでに訪れた人もいました。

(委員)

確かに人が多かったですね。カメラを構えている人も多かったですね。

(委員)

模型好きだけではなく、一般市民のお客も多かったのですか。

(事務局)

正確ではありませんが、出口にどこから来たか地図にシールを貼ってもらうコーナーを設けました。それを見ると、安城の人は多いですね。後、近隣の西尾や刈谷の人が多かったですね。遠くから来られた方は、マニアの人が多かったようです。

(委員)

「夏休みこども歴博探検隊」や「自由研究相談会」の宣伝を私も結構したつもりですが、参加人数が少なく、残念です。これらは来年も続けますか？

(事務局)

どうでしょうか。「自由研究相談会」は続けるべきだと考えていますが。

(委員)

今回は2回とも金曜日だったので、土日も含めていたらお家の方も都合をつけやすかったかもしれないですね。あるいは、1週間続けるとか、やり方次第で参加人数が増えると思います。

(事務局)

日程は検討課題ですね。

(事務局)

参加者は11人と少ないように見えますが、例年相談に来る人数の倍以上なので、それなりに意味があったと思います。日程は、要検討ですが、担当者とは来年もやりたいという話をしていきます。

(委員)

日程は、夏休みの前半じゃないと資料集めが難しくなりますね。

(委員)

もともと歴史に興味があって来る子が多いのですか。

(事務局)

基本的にはそうですが、全く何をしたいか分からないので、お家の方に連れてこられた子もいました。

(事務局)

直接は関係ありませんが、埋蔵文化財センターで開催している土器作り教室の参加者が過去最高になりました。毎日30～40人が来てくれました。こちらの方は良かったのですが、相談会の方は、もう少し検討を重ねてより良いものにしていきたいと思います。

Ⅱ 平成26年度の開催予定展覧会

(資料説明：事務局)

(委員)

お願いなのですが。「龍燈の湖」では、「東端城」を入れることはできませんか。今開発などでいろいろありますので、地元の人たちに知ってもらうためにも必要かと思うのですが。

(事務局)

検討させていただきます。

(委員)

「ミニチュア葦船をつくろう」はここでやるのですか。

(事務局)

ここでやります。大きさは、だいたい 30 cm くらいのものです。先生がキットをお持ちなので、それで作ります。

(委員)

チラシは作るのですか。

(事務局)

展示チラシの載せたようかとも思ったのですが、煩雑になってしまうと思いやめました。別に簡易印刷で作ってもいいのかなと考えています。

(委員)

時間はどれくらいかかりますか。

(事務局)

2時間くらいです。講師は横浜から来るので、土曜日に開催して、夜から翌日にかけて手直しをして、日曜に参加者に渡すということも考えています。なるべくたくさんの方に参加してもらいたいという先生の意向があるので、午前と午後両方開催するつもりです。

(委員)

エントランスでやるのですか。

(事務局)

エントランスでやるほうが人目を引いてよいと思うのですが、結構よごれるので……。エントランスには、5m くらいの大きさの葦船を展示する予定でいますので、これの小さいのを作ることをそこでお知らせしたいと考えています。

(委員)

「アッパレ！宮大工」展は、しっかり部材の説明をしてください。

(事務局)

組み物の名称だとか使われている箇所だとかしっかり説明するつもりです。

(委員)

製作の手順だとか、材質だとかも。

(事務局)

市内の寺院の修復をやってくれた「魚津社寺工務店」に協力してもらって、建築模型や大工道具なども借りて展示します。

(委員)

葦笛は、こども向けですか。

(事務局)

こどもだけでなく、大人も参加できます。

(委員)

簡単にできるものなのですか。

(事務局)

これもキットあるので、それを利用します。穴を開ける箇所に記しが付いていて、それをキリとかグラインダーで穴を開けます。音を出すのにコツがあるので、それは大変かもしれません。

(委員)

題名にある「アッパレ！」さは、どのように表現するのですか？

(事務局)

展示する部材は、市内の寺院のものなので一般的なものですが、今の建築技術とは全く別物なので、それを知らない人には、「アッパレ！」と言ってもらえるのではないのでしょうか。

(委員)

金属の釘は使っていないだとか、木を組み合わせるだけで強度が保てるだとかそういうことをしっかり説明しないと分かってもらえないのではないのでしょうか。

(事務局)

触れるような組み物の模型や実物資料を用意しようと思っています。

(委員)

ビデオのようなものは、考えていないのですか。

(事務局)

本證寺の鼓楼の修理のビデオなどがあるので、それを活用できればと考えています。

Ⅲ 平成 27 年度展覧会の予定

(資料説明：事務局)

(委員)

戦争関連は、収蔵品の中でテーマを決めてやるということですか。

(事務局)

基本は収蔵品ですが、場合によっては市内の所蔵者から借りることもあるかもしれません。

(委員)

本證寺関連は今まで何回もやっていますが、テーマはどのようなことを考えていますか。

(事務局)

本證寺の所蔵品にそれほど変化はありませんが、発掘調査や文書調査の成果が蓄積されているので、そのあたりがプラスされることになります。今回は国指定を見据えた展覧会なので、展示品のバランスを考える必要はあります。

(委員)

国指定になるのはいつですか。

(事務局)

指定されるなら今年度内の予定です。

3 その他

(資料説明：事務局)

(委員)

改修する場合、閉鎖期間はどのくらいですか。

(事務局)

およそ1年程度です。実際はもっと短いかもしれません。

(委員)

その間、特別展とかやるのですか。

(事務局)

愛知県陶磁資料館は、空調の関係などで全館閉めて作業をやっていました。名古屋市博物館は、常設展だけ閉めて、特別展は通常通り開催していました。

(議事終了)

(事務局)

あいさつ